

令和3年第6回（11月）瀬戸内市議会定例会

行政報告

本日は、令和3年第6回（11月）瀬戸内市議会定例会を招集しましたところ、ご多用の中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、感染者も減少し、岡山県においても、10月31日をもって秋のリバウンド防止期間が終了しました。しかしながら、日々感染者は発生しており、第6波の到来も懸念されます。また、今年はインフルエンザの流行も予測されているところであり、市民の皆さまには、「三密を避ける」、「マスクの着用」、「ワクチン接種」等の基本的な感染防止対策を今後も周知していきます。

また、人口減少社会、毎年発生している大規模災害や、自然環境問題への対応等、全国的に土地利用を取り巻く状況が大きく変化しています。本市においても、近年空家や耕作放棄地の増加、企業の立地等により、土地利用の課題が顕在化してきています。このため、総合計画に位置付ける「活力を生み調和のとれた土地利用を進めるまち」の実現に向け、限られた資源である市域の土地の利用について総合的かつ長期的な方向性を示す「国土利用計画（瀬戸内市計画）」を策定することとしました。この計画を本市の土地利用に関する指針として、人口減少社会に対応した安全で持続可能なまちづくりを進めていきます。

それでは、主な取組についてご報告させていただきます。

○ 防災情報伝達システムについて

整備を進めている防災情報伝達システムは、システムサーバの設置が完了し、現在、ネットワークやシステムの構築を進めています。屋外放送塔の設置も進んだため、12月20日から24日までの間に市内全ての放送塔から一斉放送する総合試験を行い、適正な稼働を確認した上、年明けから新システムへの移行を進めます。

また、新たに整備する防災アプリは、令和4年4月から本格運用を開始しますが、防災アプリの提供ができる令和4年2月頃から市民の皆さまに登録していただけるよう周知を図っていきます。戸別受信装置につきましては、世界的な半導体不足により遅れが出ていますが、3月末までに全て納入予定になっており、避難行動に支援が必要な方や75歳以上の高齢者のみの世帯で携帯電話等をお持ちでない方等に貸与する方針としています。

○ 庁舎再編計画について

庁舎再編計画により新築工事を行っていた消防署長船分駐所が、9月末に完成し、移転、開所しました。

また、福祉部等の移転計画に伴う長船支所新築工事及び本庁舎西棟改修工事の実施設計並びにJ A岡山用地の取得に向けた補償費等の算定を完了し、関連事業費を補正予算に計上しています。

長船町公民館移転関連では、ゆめトピア長船の内部改修等の設計を進めており、令和4年度工事に着手し、令和5年度中に移転する予定です。

○ 地域公共交通について

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通事業者の経営は非常に厳しい状況が続いており、本市においても3月からJR赤穂線の昼間

の便が減便となり、また、市内で路線バスを運行する両備バスが10月から減便に踏み切るなど、徐々にその影響が市民にも及んできている状況です。

人々の生活様式が変化したことにより、今後も公共交通の利用増加が見込めない中、両備バスからは、虫明・長島愛生園線につきましては今年度末、北回り牛窓線につきましては来年9月末をもって両路線を廃止する旨の申出がありました。

11月5日に開催した地域公共交通会議でもこの件について協議が行われ、廃止はやむを得ないものとし、市営バスにより路線の維持に努めることなどが議論されたところです。

また、虫明・長島愛生園線の沿線に当たる裳掛、玉津の両コミュニティ協議会においても説明会を開催し、路線の維持・確保について要望をお聞きしました。

今後も、地域の皆さまの声を聞きながら、生活に欠かせないバス路線の維持に向けて取り組んでいくこととしていますが、今年度末に廃止が予定されている虫明・長島愛生園線の維持のために当面必要となる関係予算を今議会に計上しています。

○ 人権週間啓発事業について

12月4日から始まる人権週間の啓発事業として、瀬戸内市立美術館3階ギャラリーにおいて、12月1日から12日まで石井正則写真展「13（サーティーン）～ハンセン病療養所の現在を撮る～」を開催します。

俳優の石井正則さんは、ハンセン病問題に関心を持たれ、2016年からハンセン病療養所の写真を撮り始め、2018年には、長島愛生園を訪れています。

この写真展では、石井さんがドラマ撮影等仕事の合間を見つけては全国のハンセン病療養所13か所を撮影し、自らの手焼きによりプリントした作品を展示します。

この写真展をご覧いただくことにより、多くの方にハンセン病問題に関心をお持ちいただきたいと考えています。

○ 飼い主のいない猫のためのクラウドファンディングについて

令和2年度に実施した飼い主のいない猫への不妊去勢手術補助制度のためのクラウドファンディングでは、市内外の多くの方々からご賛同をいただき、287万円余りのご寄附を頂きました。

今年度、各自治会へ補助制度を周知したところ、200匹を超える猫について補助金の交付が申請される見込みとなったことから、目標とする寄附金額を300万円として、2回目のクラウドファンディングを11月末から3か月間の予定で実施します。

○ 新型コロナワクチン接種について

本市の新型コロナワクチン接種につきましては、5月17日から65歳以上の高齢者、7月からは基礎疾患を有する方及び高齢者施設職員等の優先接種対象者、続いて12歳から64歳までの方を対象として、主に集団接種により実施してきたところです。

11月7日時点で2回接種を済まされた方は2万8,127人で、全人口の75.9%（接種対象者当たり82.7%）の方が2回接種を完了し、予約枠にも空きがでてきたことから、11月7日をもって集団接種は終了させていただきました。

なお、これまでに接種できていない方につきましては、11月9日から

市民病院での個別接種により対応しているところです。

また、12月から医療従事者を皮切りに3回目の追加接種が始まるため、現在、接種券を発送するための準備を進めています。さらに、来年2月から開始が想定される2回接種後8か月以上経過した高齢者をはじめとする市民への接種につきましては、市内の医療機関での個別接種と集団接種を併用する方向で、準備を進めているところです。

○ 民有地への企業立地について

東京証券取引所、市場第一部に上場する企業で、東京に本社がある株式会社ナガワが、長船町八日市地内の旧イトーヨーギョー工場跡地に中四国の拠点工場を建設することが決まりました。現在、既存施設の解体撤去工事中で、令和4年6月の創業に向け、準備を進めているところです。

この企業は、「スーパーハウス」で知られるユニットハウスの製造、販売、レンタル及びモジュール・システム建築を全国的に展開する会社で、事業拡大を図るための進出となります。

市としましては、雇用の創出や税収の確保だけでなく、民有地の有効利用につながる今回の新たな設備投資に対し、企業立地促進補助金等の支援を行っていきたいと考えています。

○ 分収造林の再契約について

分収造林事業は、昭和33年に制定された分収林特別措置法に基づくもので、適切な森林管理を施しながら、売却収益を得ることを目的とする事業です。

昭和36年11月20日に旧邑久町と旧奥津町（現鏡野町）との間で分収造林事業を目的として締結した契約につきましては、令和3年11月1

9日をもって契約期間が満了することから、この度、約44ヘクタールの山林について、区域内に残る伐期齢を迎えた樹木の収益性を考慮するとともに、山林の持つ公益的機能の維持向上に寄与するため、30年の期間延長を内容とする変更契約を行いました。

○ 観光事業の推進について

新型コロナウイルス感染症拡大に対する「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」が全国的に解除され、感染者数も減少していることから、特に大きな影響を受けている宿泊事業者を支援するため、11月1日から「瀬戸内市宿泊応援キャンペーン」を実施しています。この事業は、昨年度実施した宿泊キャンペーンと同様の内容で、キャンペーンに参加している市内宿泊施設に対し、1万円を上限に宿泊費の50%を支援するものです。

また、8月から岡山県民限定で開始した電子商品券「瀬戸内市プレミアムe街ギフト」につきましては、緊急事態宣言等の発令により新規の販売を停止していましたが、10月から岡山県民以外の方も購入できる形で新規の販売を再開しました。

引き続き、これらの事業の積極的な利用を呼び掛け、観光需要の回復を目指すとともに、事業者への支援を進めていきます。

○ 中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練への参加について

11月6日に中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練が広島県三次市で開催され、中・四国9県の消防機関が集結し、大規模災害対応の連携を図りました。

本市消防本部は、県内外の消防機関と協力し、河川堤防の決壊で流され

た要救助者を救命ボートにより救出する訓練を実施しました。

今後も様々な災害を想定し、市民の生命、身体、財産を守るための対策を講じていきます。

さて、今議会で提案申し上げます案件は、人事1件、条例1件、補正予算7件、その他6件、計15件です。

よろしくご審議をいただき、適切にご決定をいただきますようお願い申し上げます。市長部局の報告を終わらせていただきます。

令和3年11月24日

瀬戸内市長 武久 顕也